

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和4年10月31日

## 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <input type="checkbox"/> 地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	(一社) 北中城村観光協会	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	沖縄県中頭郡北中城村	
所在地	沖縄県中頭郡北中城村	
設立時期	平成29年9月1日	
職員数	9人【常勤9人(正職員9人)】	
代表者(トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者) ※必ず記入すること	(氏名) 島田 勝也 (出身組織名) 沖縄大学地域研究所特別研究員	沖縄大学地域研究所特別研究員及び同大学非常勤講師。沖縄市(一社)北中城村観光協会・会長。DMOの最終責任を預かる
データ収集・分析等の専門人材(CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 原口 達樹「専従」 (出身組織名) (一社)北中城村観光協会 事務局長代行 北中城村観光推進委員会(DMO推進委員会)事務局	平成19年4月に東京都庁に入職し、経理・総務部門を中心に11の担当を経験。予算・決算の作成、給与・人事・契約手続き、東日本大震災復興支援、新型コロナウイルス対策支援等多彩な経験。令和3年、北中城村観光協会入職。 京都大学「DMO財源開発(計画)研究セミナー」受講 京都大学「デスティネーションマネジメント ESSENCE 2022」受講
財務責任者(CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 原口 達樹「専従」 (出身組織名) (一社)北中城村観光協会 事務局長代行 北中城村観光推進委員会(DMO推進委員会)事務局	平成19年4月に東京都庁に入職し、経理・総務部門を中心に11の担当を経験。予算・決算の作成、給与・人事・契約手続き、東日本大震災復興支援、新型コロナウイルス対策支援等多彩な経験。令和3年、北中城村観光協会入職。 京都大学「DMO財源開発(計画)研究セミナー」受講 京都大学「デスティネーションマネジメント ESSENCE 2022」受講。
マーケティング担当(専門人材)	(氏名) 五十嵐 秀典	前職では、民事再生中の床材・畳メーカーであるダイヤロン(株)に立て直し役として入社し、代表取締役社長として、現実的かつ実務に即したマーケティングに

(別添) 様式 1

	(一社)北中城村観光協会 北中城村観光推進委員会 (DMO 推進委員会) 事務局	より黒字化させ、民事再生時の負債を完済して再生を成功させ、さらに日本一の畳メーカーにまで育て上げた実績を持つ。令和 4 年に東京から沖縄へ移住し、北中城村観光協会入職。
プロモーション 責任者 (専門人材)	(氏名) 福本 偉予里「専従」 (出身組織名) (一社)北中城村観光協会 マネージャー	大阪から沖縄に移住。地域の青年会活動でエイサーや地域活動から令和元年、観光協会入職。機械やデジタルに強く、ICT 担当。観光協会としては全国でも珍しい You Tube スタジオ「スタジオ キタナカ」運営に尽力し店長としても従事する。
商品開発・セールス (専門人材)	(氏名) 米須 壱成「専従」 (出身組織名) (一社)北中城村観光協会 マネージャー	平成 28 年から北中城村観光協会に勤務しながら地元の青年会長を担い、北中城村の地域のボランティア等にも積極的に参加を行いながら地域との交流を幅広く行っている。 また、地域との交流を交えながら地域情報収集を行うことも積極的に行っている。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	沖縄県北中城村役場企画振興課 (観光施策) ・ DMO と連携した観光統計調査の実施 ・ DMO と連携した観光振興事業の実施	
連携する事業者名及び役割	沖縄大学地域研究所(産学連携) 北中城村商工会 (商品造成連携) 沖縄中部個人タクシー事業協同組合 (二次交通連携) バスマップ沖縄 (二次交通連携) 合同会社ソルファコミュニティ (農業連携) 佐敷中城漁業協同組合 北中城支所 (漁業・水産業連携) 国指定重要文化財 中村家住宅 (文化財連携) 株式会社サンダーバード (観光危機管理連携) 沖縄 IT イノベーション戦略センター (ICT 活用連携) EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート (宿泊業連携) イオンモール沖縄ライカム (ショッピングモール連携) 楽フードサービス (飲食業連携) 中城村観光協会 (隣接地域観光連携) 沖縄市観光物産振興協会 (隣接地域観光連携) 宜野湾市観光振興協会 (隣接地域観光連携) 北谷町観光協会 (隣接地域観光連携)	
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	(該当する要件) ①② ① (一社)北中城村観光協会の理事会は、地域観光資源の関係者、宿泊事業者、飲食事業者等の代表等が就任している。同理事会が DMO の経営理事会となり、 ②の DMO 設立推進を担う北中城村観光推進委員会と連携し、合意形成を図っていく。	

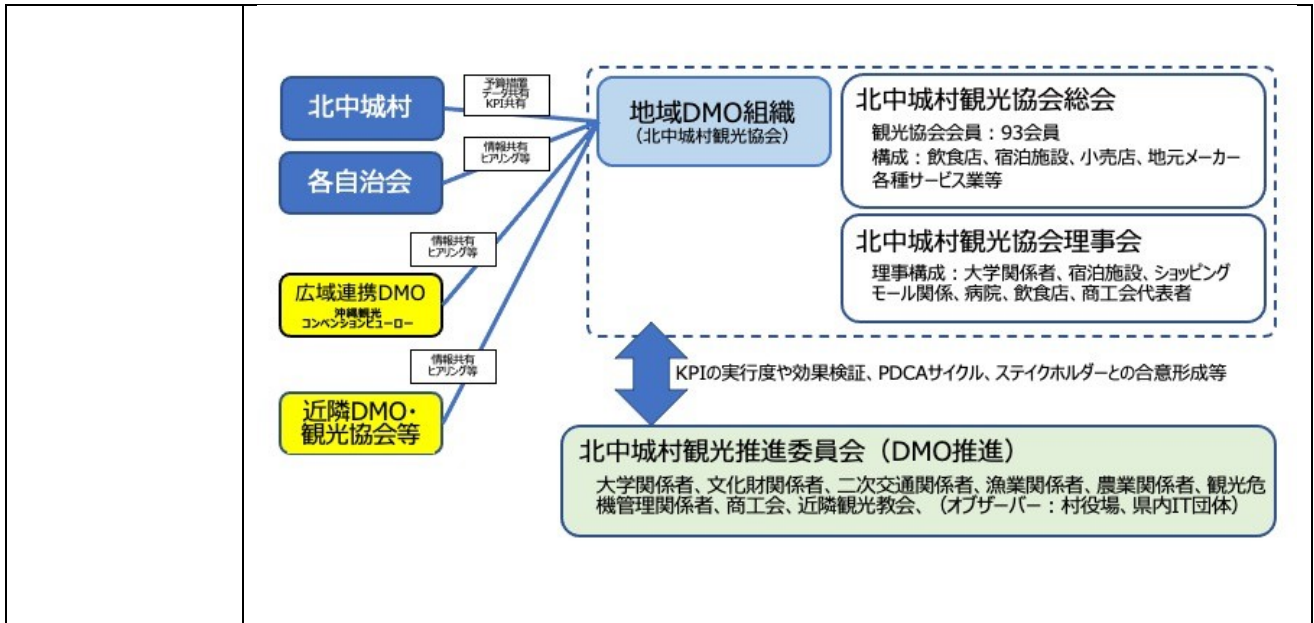
(別添) 様式 1

	<p>② 観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政が参画し、本法人が事務局を務める協議会「北中城村観光推進委員会」を設置。DMO 設立推進にあたる。</p>						
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>・平成 30 年度 9 月 18 日「北中城村の未来を切り拓く観光」と題したセミナーを開催。 講師：末吉 康敏・イオン琉球株式会社 取締役会長</p> <p>・平成 31 年度 1 月 30 日「観光の目的地（稼ぐ地域）になるために」と題し、地域課題から DMO にたどり着くまでを実例を交えて紹介。 (講師：森 成人・株式会社リクルートスタイルじゃらんリサーチセンター研究員)</p> <p>・令和 3 年度 「北中城村観光協会オンライン総合会議」 (基調講演：「今後の沖縄観光」下地 芳郎・沖縄観光コンベンションビューロー会長、対談：「北中城村の観光の未来」下地芳郎、島田勝也・北中城村観光協会会長、比嘉孝則・北中城村長)</p>						
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <table border="1" data-bbox="395 913 1369 2022"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 913 580 965">事業</th> <th data-bbox="580 913 1369 965">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 965 580 1798"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td data-bbox="580 965 1369 1798"> <p>・平成 30 年度 地域発信型映画製作業務 村受託事業。村の伝統芸能やロケーション PR としての 60 分映画を作成。「きたなかスケッチ」を YouTube で公開 (令和 4 年 7 月 11 日現在・日本語版 139,345 回視聴、英語字幕版、中国語繁体字幕版、韓国語版も公開)</p> <p>・平成 29 年度～現在 北中城村観光プロモーション事業 村受託事業。観光案内所運営 (令和 4 年度・案内者数 12,783 名) メディアプロモーション業務：SNS (LINE 登録 5,467、Facebook いいねユーザー 3,188、Instagram フォロワー 1,066、Twitter フォロワー 277 (令和 4 年 1 月～)、) You Tube (CH 登録者数 1,500) パンフレット (村内観光案内冊子 4 種作成) 観光イベント運営業務 (令和 4 年度・横浜駅北中城村ふるさと納税フェア、来場者 2,485 名)、観光販促物管理運用業務 (観光案内冊子管理、配布、補充等)</p> <p>・平成 30 年度～現在 「スタジオ キタナカ」事業 村受託事業。一部自主事業。You Tube スタジオの運営。独自番組発信、番組プロデュース、レンタルスタジオ等 (スタジオ利用件数 94 件・約 523 名、年間販売金額 4,235,171 円)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1798 580 2022"> <p>受入環境の整備</p> </td> <td data-bbox="580 1798 1369 2022"> <p>・平成 30 年度 東海岸地域サンライズ推進協議会と広域観光案内マップ作成事業 4 町村 (与那原町、西原町、北中城村、中城村) で広域観光案内マップを製作・配布</p> <p>・平成 29 年度～現在 クルーズ船着岸対応観光案内業務</p> </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>・平成 30 年度 地域発信型映画製作業務 村受託事業。村の伝統芸能やロケーション PR としての 60 分映画を作成。「きたなかスケッチ」を YouTube で公開 (令和 4 年 7 月 11 日現在・日本語版 139,345 回視聴、英語字幕版、中国語繁体字幕版、韓国語版も公開)</p> <p>・平成 29 年度～現在 北中城村観光プロモーション事業 村受託事業。観光案内所運営 (令和 4 年度・案内者数 12,783 名) メディアプロモーション業務：SNS (LINE 登録 5,467、Facebook いいねユーザー 3,188、Instagram フォロワー 1,066、Twitter フォロワー 277 (令和 4 年 1 月～)、) You Tube (CH 登録者数 1,500) パンフレット (村内観光案内冊子 4 種作成) 観光イベント運営業務 (令和 4 年度・横浜駅北中城村ふるさと納税フェア、来場者 2,485 名)、観光販促物管理運用業務 (観光案内冊子管理、配布、補充等)</p> <p>・平成 30 年度～現在 「スタジオ キタナカ」事業 村受託事業。一部自主事業。You Tube スタジオの運営。独自番組発信、番組プロデュース、レンタルスタジオ等 (スタジオ利用件数 94 件・約 523 名、年間販売金額 4,235,171 円)</p>	<p>受入環境の整備</p>	<p>・平成 30 年度 東海岸地域サンライズ推進協議会と広域観光案内マップ作成事業 4 町村 (与那原町、西原町、北中城村、中城村) で広域観光案内マップを製作・配布</p> <p>・平成 29 年度～現在 クルーズ船着岸対応観光案内業務</p>
事業	実施概要						
<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>・平成 30 年度 地域発信型映画製作業務 村受託事業。村の伝統芸能やロケーション PR としての 60 分映画を作成。「きたなかスケッチ」を YouTube で公開 (令和 4 年 7 月 11 日現在・日本語版 139,345 回視聴、英語字幕版、中国語繁体字幕版、韓国語版も公開)</p> <p>・平成 29 年度～現在 北中城村観光プロモーション事業 村受託事業。観光案内所運営 (令和 4 年度・案内者数 12,783 名) メディアプロモーション業務：SNS (LINE 登録 5,467、Facebook いいねユーザー 3,188、Instagram フォロワー 1,066、Twitter フォロワー 277 (令和 4 年 1 月～)、) You Tube (CH 登録者数 1,500) パンフレット (村内観光案内冊子 4 種作成) 観光イベント運営業務 (令和 4 年度・横浜駅北中城村ふるさと納税フェア、来場者 2,485 名)、観光販促物管理運用業務 (観光案内冊子管理、配布、補充等)</p> <p>・平成 30 年度～現在 「スタジオ キタナカ」事業 村受託事業。一部自主事業。You Tube スタジオの運営。独自番組発信、番組プロデュース、レンタルスタジオ等 (スタジオ利用件数 94 件・約 523 名、年間販売金額 4,235,171 円)</p>						
<p>受入環境の整備</p>	<p>・平成 30 年度 東海岸地域サンライズ推進協議会と広域観光案内マップ作成事業 4 町村 (与那原町、西原町、北中城村、中城村) で広域観光案内マップを製作・配布</p> <p>・平成 29 年度～現在 クルーズ船着岸対応観光案内業務</p>						

		<p>村受託事業。クルーズ船着岸の際の観光案内等を実施（平成30年・20件対応。乗船客数25,830名、近年は新型コロナで未実施）</p> <p>・平成29年度～現在 Free Wi-Fi 整備運用 村受託事業。村内にFree Wi-Fiのアクセスポイントを設置。（令和4年度、村内43アクセスポイント設置運営）</p>	
	<p>観光資源の磨き上げ</p>	<p>・平成29年度～30年度 村内デザイン・印刷支援業務 自主事業。北中城村で開催されるイベント等について、デザインを強化する支援を実施しプロモーションを促進。（平成29年～平成30年、15件）</p> <p>・令和2年度北中城村観光活性化助成事業・キタナカ激辛キャンペーン 新型コロナ対策として、長期間、分散型のキャンペーンとして村内飲食店の観光磨き上げを実施。（参加店舗8店舗、集客推計300名。動画8本、9,025回再生・令和3年2月現在。Facebook56,607リーチ。ニュースサイト37媒体。県内雑誌1件、新聞1件）</p> <p>・令和2年度 市町村健康づくり運動実践活動助成事業・キタナカ Kitchen LABO プロジェクト 女性長寿日本一（3期15年）を観光資源として活かすべく、飲食店の質の向上と共に健康長寿・ウェルネスメニューの開発を念頭に、食に関する飲食店交流研究を実施。（対面4回。オンライン1回実施。参加のべ120名。コロナ禍につき制限）</p> <p>・令和4年度 観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」 現在実施中。「女性長寿日本一の村がただ「長く生きる」から多様なパートナーと「より良く生きる」旅の聖地へ！住民・生業・食文化・遺産など「北中城」一体で受け入れる滞在モデルプラン造成」が採択。（・新規開発、磨き上げを行う観光コンテンツ数：3件、モニターツアー実施：1回／参加者4組8名（国内客及び在留台湾人）、記事掲載：訪日メディア掲載1件以上、プロモーション素材制作：プロモーション動画1件、多言語翻訳整備：1件（看板商品に関わる特設サイト構築、モニターツアー満足度評価アンケート：1回を予定）</p>	<p>(定量的な評価)</p>

(別添) 様式 1

<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。</p>	<p>(一社)北中城村観光協会が母体となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、文化財、農業、漁業、商工業等、多様な関係者が参画する官民が密接に連携した「北中城村観光推進委員会」を設立、運営を実施。</p> <p>「北中城村観光推進委員会」は令和2年10月19日に第1回を開催。</p> <p>令和2年12月7日第2回開催 令和3年3月12日第3回開催 令和4年2月15日第4回開催</p> <p>一般社団法人北中城村観光協会 体制</p> <p>・理事会 会長 島田 勝也(沖縄大学地域研究所 特別研究員) 副会長 西瀨 泰(EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート代表取締役社長 総支配人)</p> <p>理事 菅尾 圭二郎(イオンモール沖縄ライカム ゼネラルマネージャー) 泉 智文(イオン琉球 イオンライカム店 店長) 東恩納 亮(医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院 地域医療連携室課長) 平良 由乃(株式会社プラザハウス 代表取締役社長) 宮林 孝治(株式会社楽フードサービス 代表取締役) 安慶名 達宏(北中城村商工会 会長)</p> <p>・北中城村観光推進委員会(DMO 推進) 委員長 島田 勝也(沖縄大学地域研究所 特別研究員) 委員 武末 真希(国指定重要文化財 中村家住宅) 委員 兼島 兼哲(沖縄中部個人タクシー事業協同組合 理事長) 委員 谷田貝 哲(バスマップ沖縄 主宰) 委員 城間 建人(佐敷中城漁業協同組合 北中城支所) 委員 玉城 卓(合同会社ソルファコミュニティ) 委員 翁長 由佳(株式会社サンダーバード 代表取締役) 委員 玉城 重憲(一般社団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター) 委員 比嘉 秀仁(北中城村商工会 事務局長) 委員 島袋 雄一(中城村観光協会 事務局長) 委員 高江洲 義之(宜野湾市観光振興協会 事務局長) 委員 石原 洋一(北谷町観光協会 事務局長) 委員 金城 諭(沖縄市観光物産振興協会 事務局長) 有識者 山田 一誠(一般社団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 専務理事) オブザーバー 棚原 昌也(北中城村役場企画振興課 係長)</p>
---	--



## 2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

沖縄本島中部に位置する北中城村をマネジメント区域とする。

なお、既に観光地域づくり法人として登録している沖縄市観光物産振興協会とも連携。また本島中部地域観光協会とも積極的に連携している。

【観光客の実態等】

沖縄県は平成30年度に入域観光客数1,000万人を超え観光産業は順調に客数を伸ばしてきたが、新型コロナウイルスの影響で一転し、非常に厳しい状況となった。令和2年度の観光入域客数は258万人と、昭和63年度と同等まで落ち込んでいる。また、入域客数に比較すると観光消費は必

## (別添) 様式 1

ずしも伸びているとは言えず、数だけではなく質（高付加価値）も向上させ、観光消費を伸ばす必要がある。

本村への観光集客は、村内大型ショッピングモールへのショッピング集客はあるものの、モール外の観光周遊に繋がっていない。

村内宿泊施設 7 施設。部屋数 388 室。収容人数は最大 991 名となっている。全体キャパシティの約 50%以上（218 室 473 名収容）を占める村内最大規模のホテルは新型コロナウイルス感染拡大を機にリブランドを実施。ターゲティングの強化。施設名称を「EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート」とし、発酵や、ライフスタイルに意識の高い女性をメインに高付加価値化に大きく舵を切った。徐々にではあるが宿泊も戻り客層の変化も見られる。

### 【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

～北中城村は世界一のウェルネスビレッジを目指す～

・観光資源：女性長寿日本一（健康）、世界遺産 中城城跡（歴史文化）

・商業施設：イオンモール沖縄ライカム（ショッピング）、カフェ・飲食店（グルメ）、EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート（宿泊施設）

・自然、文化

国指定重要文化財中村家住宅（歴史文化）、荻道区・大城区の湧水群、地域伝統芸能（フェーヌシマ、旗スガシー、琉球獅子舞等）、御嶽・拝所等の聖地・独特の地域祭祀（歴史文化）

・スポーツ、イベント

施設：北中城村村民体育館、イベント：北中城村まつり、青年エイサーまつり、荻道ひまわり祭り

### 【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

・域内分布：村内の高台、喜舎場区に部屋数 218 室の最大規模のホテル。役場周辺の安谷屋地区に低価格ホテル。屋宜原区に元ラブホテルを改装したホテル等。他は AirBnB 等の民泊や元アパート・マンションタイプのホテル。マンスリーマンション 1 件

・施設数 7 施設

・収容力 388 室・収容人数最大 991 名

### 【利便性：区域までの交通、域内交通】

～大型ショッピングモールによりアクセスしやすい環境～

・那覇空港より高速バスで「イオンモール沖縄ライカム」まで（152 番）にて約 40 分。

・那覇空港より高速バスで高速「喜舎場バス停」まで（111 番、117 番、113 番、123 番、127 番、YKB888 番）にて約 40 分。

・地域循環バス（グスクめぐりん）

・那覇空港より自動車にて沖縄自動車道経由約 30 分

### 【外国人観光客への対応】

・地域内無料 Wi-Fi 網完備

・クルーズ船からのバスツアー対応

・ショッピングモール内多言語観光案内所

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	QRコード設置等で、アンケート調査を実施する。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	宿泊施設にご協力頂き、可能な施設については実数データを提供して頂く。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	QRコード設置等で、アンケート調査を実施する。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	QRコード設置等で、アンケート調査を実施する。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	アクセス解析による分析。 (ページビュー、サイトバイオリズム、月報、アクセスランキング等)
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	アンケート調査を実施する。また自治会ヒアリングも実施する。

### 4. 戦略

#### (1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

北中城村ではリゾート型大型ショッピングモールと、大型病院を中心にマンションが増加。それに比例して人口も増加傾向にある。大型ショッピングモールは1日数万人を集客するが、村内文化観光施設はコロナ前の沖縄観光が増加していた時期含め、来場者数は10年以上下がり続けている。観光地域づくり法人(DMO)を中心に、モールから周辺地域への観光人流の創出や、既存宿泊施設との連携を強化。経済活性化を図る。

#### (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性長寿日本一</li> <li>● 世界遺産中城城跡</li> <li>● イオンモール沖縄ライカムが好調</li> <li>● 人気のカフェ、飲食店がある</li> <li>● 北部、南部からのアクセスが良い</li> <li>● 地域に大型ホテルがある</li> <li>● 基地に近く、アメリカンテイスト</li> <li>● 沖縄市(コザ)、北谷町美浜に近い</li> <li>● You Tube スタジオ「スタジオキタナカ」での情報発信</li> </ul>	<b>弱み (Weaknesses)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖縄らしい綺麗な白い砂浜のビーチはない</li> <li>● 世界自然遺産「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を持つ本島北部に比べると自然の魅力が低い</li> <li>● 長寿記録は今後1位でなくなる可能性がある</li> <li>● 修学旅行民泊は現時点で北中城単体では困難</li> </ul>



(別添) 様式 1

外部環境	<p><b>機会 (Opportunity)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖縄観光はコロナ後復活と予測</li> <li>● 令和 7 年オープン予定の北部テーマパークがアジア圏観光集客拠点になる可能性がある</li> <li>● 県は観光振興に注力し予算もかけている</li> <li>● 5G 等の技術革新</li> <li>● 令和 5 年「FIBA バスケットボールワールドカップ 2023」が隣接する沖縄市開催のため、その集客恩恵の可能性はある</li> </ul>	<p><b>脅威 (Threat)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖縄そのものが飽きられる可能性（修学旅行を除くとリピート率 33.7%。全国平均 37.2%以下）</li> <li>● 新型コロナウイルスによる生活変化、価値観変化</li> <li>● 貧富の差拡大。</li> <li>● 在沖米軍事故・事件</li> <li>● 天災、新たな感染症等</li> </ul>
------	---	---

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

**(3) ターゲット**

<p>○第 1 ターゲット層</p> <p>東京在住の 30 代独身女性。癒やし、エコ（環境）、ヘルスケア、スピリチュアル、スパ、フィットネス、アンチエイジング、ヨガ、オーガニック、マインドフルネス、SDGs 等に関心が強くなった層</p>
<p>○選定の理由</p> <p>村内大型ホテル「EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート」のターゲットと重なり、また女性長寿日本一から「長寿を産み出す環境」は地域に根ざしており、単なる長生きから、より良く生きる「豊かな時間を過ごせる健幸度世界一のむら」（健幸＝ウェルネス）は北中城村観光振興基本計画の基本理念となっている。国内観光の出発地で最も入域の多い東京都在住。ターゲット層のエコ、ヘルスケア等の「関心」については、琉球大学国際地域創造学部ウェルネス研究分野・荒川雅志教授監修により、世界ウェルネス機構（GWI）の分析結果、全米調査結果を踏まえたもの。</p> <p>○取組方針</p> <p>まずはウェルネスな地域としての認知度向上を図る。WEB サイト、SNS でのアクセス状況を分析しターゲットに「アクセスされる環境」を構築すると共に、ターゲットに訴求する観光コンテンツを創出・整備していく。</p>
<p>○第 2 ターゲット層</p> <p>海外（主にアジア圏）の 30 代独身女性。癒やし、エコ（環境）、ヘルスケア、スピリチュアル、スパ、フィットネス、アンチエイジング、ヨガ、オーガニック、マインドフルネス、SDGs 等に関心が強くなった層</p>
<p>○選定の理由</p> <p>第 1 ターゲット層への訴求と共に、同じキーワードへの関心が高い海外層へ広げる。</p>

(別添) 様式 1

○取組方針

現状、海外版のWEBサイトもマップ・パンフレットもない状況なので、第1ターゲットへの訴求がある程度うまく進んだ後、そのノウハウを活かしWEBサイトや印刷物の対応等行う。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

<p>①コンセプト</p>	<p>世界一のウェルネスビレッジを目指す北中城村  ただ長く生きる長寿ではなく、より良く生きるライフスタイルを感じる村へ。</p>
<p>②コンセプトの考え方</p>	<p>3期(15年)女性長寿日本一となった北中城村は、長生きの背景に「より良く生きる」ための文化・食・風習や伝統が存在している。従来は「健康」としていたが、世界に伝わる「ウェルネス」という言葉に変えた。</p> <p>村内大型ホテルは名称・コンセプトに「ウェルネス」を打ち出しターゲット層も合致。関連市場(推計国内153.3兆円市場)の将来性、世界でも「ブルーゾーン」として長寿・ウェルネス地域と認められる沖縄県において、他都道府県とは差別化でき、市町村においては差別化ではなく連携を推進し、本島南部へも北部へもアクセスの良い立地的優位性を打ち出す。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。</p>	<p>北中城村役場企画振興課との月例会議(月1回)※実施中 村内大型ホテルとのマーケティング会議(月1回)※実施中 沖縄県地域観光協会等協議会(四半期1回)※実施中 本島中部広域観光協会での情報交換LINEグループ(随時)※実施中 北中城村観光推進委員会(四半期1回)※適宜開催を四半期1回開催にする</p> <p>活動の意義・内容については、観光協会会員を中心に、適宜関連事業者を訪問し説明。特にネット戦略については関連事業者へのコンサルティングを実施していく。</p> <p>地域ではなくエリア・県としての戦略連携は沖縄県地域観光協会等協議会や本島中部広域観光協会での情報交換LINEグループで実施。</p> <p>成果、KPIの達成状況や取組による地域経済・社会の変化の分析結果等の報告は「北中城村観光推進委員会」で実施する。</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>アンケート調査・満足度アンケートの実施。その結果を北中城村役場企画振興課、村内ホテル、北中城村観光推進委員会にてフィードバックしたうえで、PDCAサイクルを確立する。</p>

(別添) 様式 1

<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>〈実施済み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村内宿泊施設のマーケティングデータを基に想定ターゲットを設定し、既存観光情報サイトや SNS での情報発信を実施している。また、アクセス数や SNS での反応を分析し、発信内容の改善を実施している。</li> <li>・Google Analytics 分析を毎月実施しており、「セッションの前年比の波」、「月別イベント」、「アクセスランキング」の 3 表を作成分析して、情報発信の効果を検証しながら、発信情報の改善を実施している。</li> </ul> <p>〈実施予定〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング戦略に基づき観光情報サイトの再構築を行い、サイト上でのアンケート等で収集したデータを合意形成機関に共有することで、マーケティング戦略の改善を図る。</li> </ul>
--	---

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

## 6. KPI (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後 3 年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去 3 年間の実績も記入すること。

### (1) 必須 KPI

指標項目	2019 (R 1) 年度 実績	2020 (R 2) 年度 実績	2021 (R 3) 年度 実績	2022 (R 4) 年度 目標	2023 (R 5) 年度 目標	2024 (R 6) 年度 目標
●旅行消費額 (百万円)	2,854	1,399	1,598	2,090 (89)	2,583 (155)	3,075 (222)
●延べ宿泊者数 (人)	38,763	17,647	20,157	26,371 (1,120)	32,585 (1,960)	38,800 (2,800)
●来訪者満足度 (%)	未調査	未調査	未調査	67.8	68.5	69
●リピーター率 (%)	4.4	13.0	16.0	19.0	22.0	25.0

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

(別添) 様式 1

**【検討の経緯】**

目標設定にあたっては、県の公表している観光要覧、広域 DMO である沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)、隣接 DMO である沖縄市観光物産振興協会のデータを参考にしたが、今後、観光地域づくり候補法人としての登録後については、OCVB、沖縄市観光物産振興協会との情報共有、意見交換を実施・共有し、実績値の分析、目標値の修正等を行う。

**【設定にあたっての考え方】**

実績については、協力を得た宿泊施設 (3 施設・村内キャパシティ約 70%) のデータを用いた。

●旅行消費額

実績については、協力を得た宿泊施設の宿泊実績に、県の観光統計による平均消費額を乗じて算出した。目標値については、延べ宿泊数を 3 年かけて新型コロナウイルスが感染拡大する前の水準に戻すことを目指し、直近の平均消費額を乗じて設定した。

●延べ宿泊者数

実績については、協力を得た宿泊施設のデータを用いた。

目標値については、新型コロナウイルス感染拡大する前の水準に 3 年かけて戻すことを目指して設定した。外国人については過去データのある施設が少なかったため表記していない。

●来訪者満足度

これまで満足度データを取っておらず、実績については明記出来ないが、今後アンケート調査により実施する。令和 2 年度沖縄県調査・平均満足度 67.8% をスタートとし、沖縄本島内の平均満足度 69% を令和 6 年度ゴールとした。

●リピーター率

観光の持続性・発展性につながる指標なので、来訪者満足度を管理することとした。

令和 2 年度から令和 3 年度にかけての直近の増加率である 3% を維持するように目標値を設定した。

(2) その他の目標

指標項目	2019 (R 1) 年度 実績	2020 (R 2) 年度 実績	2021 (R 3) 年度 実績	2022 (R 4) 年度 目標	2023 (R 5) 年度 目標	2024 (R 6) 年度 目標
●住民満足度 (%)	未調査	未調査	55.0 (100%)	60.0 (109%)	65.0 (118%)	70.0 (127%)
●宿泊施設の稼働率 (%)	40.5	19.5	19.3 (100%)	26.3 (136%)	33.3 (173%)	40.5 (210%)
●1 日当たり平均ウェブアクセス数 (件)	109.0	133.0	140.1 (100%)	150.0 (107%)	160.0 (114%)	170.0 (121%)

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

必須 KPI を補完する役割として、各指標を設定し管理することとした。

### 【設定にあたっての考え方】

#### ●住民満足度

「地域への誇りと愛着を醸成する」という目的の達成度を測るために、設定し管理することとした。本年については観光協会会員アンケートによるデータ。次年度以降は会員以外にも広げる予定。住民満足度が毎年 5% ずつ増加することを目指して目標値を設定した。

#### ●宿泊施設の稼働率

「地域の稼ぐ力を引き出す」目的の達成度を測るために、設定し管理することとした。新型コロナウイルス感染拡大前の水準に 3 年かけて戻すことを目指して、目標値を設定した。

#### ●1 日当たり平均ウェブアクセス

初訪問のきっかけづくり、既訪問者の囲い込みのための魅力発信媒体の閲覧数を管理することで、認知度、愛着度が向上し結果として「持続的に地域が潤う」という目的の達成に繋がると考えた。令和 2 年度から令和 3 年度にかけての直近の増加率である 105.3% を下回らるように、目標値を設定した。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後 3 年間について、計画年度毎に (1) 収入、(2) 支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去 3 年間の実績も記入すること。

### (1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
2019 (R1) 年度	77,399,518 円	<b>【市町村からの補助金】</b> 15,400,000 円 <b>【会費収入】</b> 830,000 円 <b>【事業収入】</b> 61,169,355 円 うち委託事業 52,241,500 円 (観光誘客プロモーション事業: 村受託) 43,138,700 円 (観光インフラ設備推進事業: 村受託) 9,102,800 円 うち自主事業 8,927,855 円 (プレミアム商品券販売換金業務) 2,745,600 円 (観光案内所商品販売) 4,836,257 円 (その他自主事業収入) 1,345,998 円 <b>【その他】(雑収入・銀行利息等)</b> 163 円
2020 (R2) 年度	78,685,894 円	<b>【市町村からの補助金】</b> 14,000,000 円 <b>【会費収入】</b> 710,000 円 <b>【事業収入】</b> 63,690,858 円 うち委託事業 47,990,962 円 (観光誘客プロモーション事業: 村受託) 39,013,962 円 (観光インフラ設備推進事業: 村受託) 8,977,000 円 うち自主事業 15,699,896 円 (地域おこし協力隊活動支援業務: 村受託) 6,291,139 円 (プレミアム商品券販売換金業務) 1,000,952 円 (観光案内所商品販売) 4,318,906 円 (その他自主事業収入) 4,088,899 円 <b>【その他】(雑収入・銀行利息等)</b> 285,036 円

## (別添) 様式 1

2021 (R3) 年度	81,472,160 円	<b>【市町村からの補助金】</b> 14,000,000 円 <b>【会費収入】</b> 642,500 円 <b>【事業収入】</b> 66,812,347 円 うち委託事業 (観光誘客プロモーション・インフラ事業: 統合) 49,491,636 円 うち自主事業 17,320,711 円 (地域おこし協力隊活動支援業務: 村受託) 3,276,915 円 (プレミアム商品券販売換金業務) 1,864,926 円 (観光案内所商品販売) 3,498,937 円 (モニタリングツアー業務) 2,698,832 円 (ふるさと納税返礼品業務) 1,885,586 円 (その他自主事業収入) 4,095,515 円 <b>【その他】</b> 17,313 円
2022 (R4) 年度	82,796,650 円	<b>【市町村からの補助金】</b> 14,000,000 円 <b>【会費収入】</b> 700,000 円 <b>【事業収入】</b> 68,096,550 円 うち委託事業 (観光誘客プロモーション・インフラ事業: 統合) 51,200,800 円 うち自主事業 16,895,750 円 (地域おこし協力隊活動支援業務: 村受託) 1,492,000 円 (プレミアム商品券販売換金業務) 933,750 円 (オンライン商品販売) 1,500,000 円 (八重瀬町観光協会コンサルティング業務) 970,000 円 (その他自主事業収入) 12,000,000 円 <b>【その他】</b> 100 円
2023 (R5) 年度	82,820,000 円	<b>【市町村からの補助金】</b> 14,000,000 円 <b>【会費収入】</b> 820,000 円 <b>【事業収入】</b> 68,000,000 円 うち委託事業 49,000,000 円 うち自主事業 19,000,000 円
2024 (R6) 年度	84,840,000 円	<b>【市町村からの補助金】</b> 14,000,000 円 <b>【会費収入】</b> 840,000 円 <b>【事業収入】</b> 70,000,000 円 うち委託事業 48,000,000 円 うち自主事業 22,000,000 円

## (2) 支出

年 (年度)	総支出	内訳
2019 (R1) 年度	67,735,848 円	<b>【一般管理費】</b> 40,995,009 円 <b>【事業費】</b> 17,515,111 円 <b>【租税公課】</b> 9,225,728 円
2020 (R2) 年度	78,337,312 円	<b>【一般管理費】</b> 49,614,666 円 <b>【事業費】</b> 23,238,209 円 <b>【租税公課】</b> 5,484,437 円

(別添) 様式 1

2021 (R3) 年度	81,211,186 円	<b>【人件費及び福利厚生】</b> 37,446,888 円 <b>【販売費及び一般管理費】</b> 40,950,800 円 うち外注費 17,711,727 円 <b>【租税公課】</b> 2,813,498 円
2022 (R4) 年度	82,796,650 円	<b>【人件費及び福利厚生】</b> 39,692,273 円 <b>【販売費及び一般管理費】</b> 36,642,000 円 うち外注費 14,000,000 円 <b>【租税公課】</b> 4,000,000 円 <b>【予備費】</b> 2,462,377 円
2023 (R5) 年度	82,820,000 円	<b>【人件費及び福利厚生】</b> 39,692,273 円 <b>【販売費及び一般管理費】</b> 36,642,000 円 うち外注費 14,000,000 円 <b>【租税公課】</b> 4,000,000 円 <b>【予備費】</b> 2,485,727 円
2024 (R6) 年度	84,840,000 円	<b>【人件費及び福利厚生】</b> 39,692,273 円 <b>【販売費及び一般管理費】</b> 37,642,000 円 うち外注費 15,000,000 円 <b>【租税公課】</b> 4,500,000 円 <b>【予備費】</b> 3,005,727 円

**(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針**

- ①積極的な収益事業の受託
- ②WEB サイトや SNS を強化する事に伴う特集ページ等広告収入
- ③デジタルマーケティングのコンサルティング業務
- ④旅行商品の販売 (国定重要文化財でのランチ・ディナーツアー、ウェルネスをテーマにした地域交流、発酵ディナー、ヨガ等のツアーをモニタツアー等実施し開発中)
- ⑤オンラインネット通販

**8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見**

北中城村は3期15年「女性長寿日本一」の村であり、「イオンモール沖縄ライカム」という大型ショッピングモールや「世界遺産・中城城跡」や国定重要文化財「中村家住宅」等を有し、宿泊施設「EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート」もあるが、地域の知名度は全国的には殆どなく周辺観光も産業と呼べるほどの規模ではない。

持続可能な観光地を形成していくには、各施設や事業者が個々に対応するのではなく、官民一体となって観光振興に取り組む必要がある。特に、今後はマーケティング面に力を入れ、KPIを設定し、PDCAサイクルを確立していく必要があると考えている。

北中城村観光協会を観光地域づくり法人(DMO)とし、地域のマーケティング、マネジメントを担う組織として、行政と共に地域の観光振興を推進していく為にも本村の地域DMOとして登録したいので、一般社団法人北中城村観光協会とともに申請する。

9. マーケティング・マネジメント対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複しない

10. 記入担当者連絡先

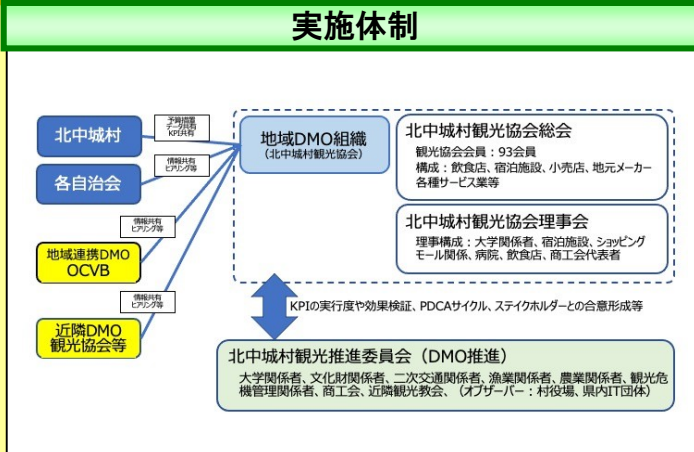
担当者氏名	又吉 演
担当部署名（役職）	事務局長
郵便番号	901-2306
所在地	沖縄県中頭郡北中城村字ライカム1番地
電話番号（直通）	098-923-5888
FAX番号	098-923-5839
E-mail	matayoshi@kitapo.jp

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	北中城村役場
担当者氏名	仲本 正一
担当部署名（役職）	企画振興課 課長
郵便番号	901-2392
所在地	沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場426-2
電話番号（直通）	098-935-2269
FAX番号	098-935-3488
E-mail	masaichi-n@vill.kitanakagusuku.lg.jp



【区域】 沖縄県、中頭郡、北中城村  
 【設立日】 平成29年9月1日  
 【登録日】 令和4年10月28日  
 【代表者】 島田 勝也  
 【マーケティング責任者(CMO)】  
 原口 達樹  
 【財務責任者(CFO)】  
 原口 達樹  
 【職員数】 9人  
 (常勤9人(正職員9人))  
 【連携する主な事業者】  
 大学、商工会、二次交通、農業、漁業、文化財、  
 観光危機管理、ショッピングモール等



### マーケティング・マネジメントする区域

【主な観光資源】  
 女性長寿日本一(健康)、世界遺産 中城城跡(歴史文化)、ショッピングモール、グルメ、宿泊施設

### 合意形成の仕組み

【該当する登録要件】 (①②)  
 【概要】  
 北中城村観光協会理事会に加え、理事会に含まれないステークホルダーをメンバーとした北中城村観光推進委員会を設置。

### 戦略

【主なターゲット】  
 東京在住の30代独身女性。癒やし、エコ(環境)、ヘルスケア、スピリチュアル、スパ、フィットネス、アンチエイジング、ヨガ、オーガニック、マインドフルネス、SDGs等に関心が強くなった層

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】  
 まずはウェルネスな地域としての認知度向上を図る。WEBサイト、SNSでのアクセス状況を分析しターゲットに「アクセスされる環境」を構築すると共に、ターゲットに訴求する観光コンテンツを創出・整備していく。

### KPI(実績・目標)

※( )内は訪日外国人旅行者に関する数値

項目	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
旅行消費額 (百万円)	目標	( )	( )	2090 (89)	2583 (155)	3075 (222)
	実績	2,854 ( )	1,399 ( )	1,598 ( )	( )	( )
延べ宿泊者数 (千人)	目標	( )	( )	( )	26 (1.1)	32 (1.9)
	実績	38 ( )	17 ( )	20 ( )	( )	( )
来訪者満足度 (%)	目標	( )	( )	( )	67.8 ( )	68.5 ( )
	実績	( )	( )	( )	( )	( )
リピーター率 (%)	目標	( )	( )	( )	19 ( )	22 ( )
	実績	4.4 ( )	13 ( )	16 ( )	( )	( )

### 法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】  
 ・平成30年度 地域発信型映画製作業務  
 ・平成29年度～現在 北中城村観光プロモーション事業  
 ・平成30年度～現在 「スタジオ キタナカ」事業

【観光資源の磨き上げ】  
 ・令和2年度 市町村健康づくり運動実践活動助成事業・キタナカKitchen LABOプロジェクト  
 ・令和4年度 観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」

【受入環境の整備】  
 ・平成30年度 東海岸地域サンライズ推進協議会と広域観光案内マップ作成事業  
 ・平成29年度～現在 クルーズ船着岸対応観光案内業務  
 ・平成29年度～現在 Free Wi-Fi整備運用

### 観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

北中城村役場企画振興課との月例会議  
 村内大型ホテルとの月例マーケティング会議  
 沖縄県地域観光協会等会議  
 北中城村観光推進委員会  
 本島中部広域観光協会での情報交換LINEグループ

### 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】 81百万円(市町村からの補助金14百万円、会費収入0.6百万円、事業収入66百万円)  
 【総支出】 81百万円(人件費及び福利厚生37百万円、販売費及び一般管理費40百万円、租税公課2.8百万円)  
 ※令和4年 5期決算  
 【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】  
 事業受託、広告収入、コンサルティング、旅行商品販売、ネット通販